

## 別紙1

## 事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	建築住宅課(市営住宅担当)		
事務事業名	市営住宅維持管理事業	事業番号	10223
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-6 住環境の改善
	施策目標	多様なニーズに対応した住環境を提供するまち

## 2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	市営住宅入居者
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	各市営住宅の老朽化に対処するため、建物の修繕及び延命化を図る工事等の維持管理を行う。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	市営住宅の延命化に伴い、市内での定住が図られる。	

## 3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 根室市営住宅等長寿命化計画に基づく市営住宅改修工事の進捗率	39.0%	21.6%	30.0%	36.6%	41.6%		57.0%	100.0%
2								
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H30予算		H30決算		H31予算		
		110,726		112,461 (うちH31繰越14,600)		97,797		
内訳	国道支出金	60,250		57,048 (うちH31繰越5,950)		43,172		
	地方債	29,000		28,600 (うちH31繰越6,000)		31,000		
	その他	10,050		10,050		15,403		
	一般財源	11,426		16,763 (うちH31繰越2,650)		8,222		
人員(人工)		3.00		3.00		3.00		
職員人件費(=人員(人工)×7,679千円)		23,037		23,037		23,037		
総事業費(=事業費+職員人件費)		133,763		135,220		120,834		
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		3,215		3,250				
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)								

#### 4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	改修時期が遅れている団地があるものの、改修前倒しなどで全棟終了した団地もあり、計画は着実に進行している。
今後の動向・市民ニーズなど	今後も計画的に進めていきたい。

#### 5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	老朽化団地は減少傾向にあり、入居者の快適性は向上している。
	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか (民間、NPO等)	公営住宅法に基づいた事業であることから、基本的に市以外の取り組みは困難である。
	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
オ. 他の事業との統合について可能性はありますか	
	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある
カ. 受益者に負担をいただく (又は負担を見直す)可能性はありますか	

#### 6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替 ) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和元年6月

## 別紙1

## 事務事業評価(中間評価)シート【平成30年度】

主管課名(担当名)	建築住宅課(建築指導担当)		
事務事業名	市営住宅整備事業	事業番号	12597
重点プロジェクト	<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 非該当	評価時期	<input checked="" type="checkbox"/> 中間 <input type="checkbox"/> 事後
		事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治 <input type="checkbox"/> 法定受託

## 1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	2-6 住環境の改善
	施策目標	多様なニーズに対応した住環境を提供するまち

## 2 事務事業の概要と目的

対象	事務や事業が対象としている人や団体など	住宅に困窮する低所得者に対して低廉な家賃で提供
	対象者の今後の予想	同程度
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	・良質な居住環境の供給を図るため、ユニバーサルデザインの視点と環境、景観に配慮した市営住宅の整備を行う。	
意図 (どのような成果を得ようとしているのか)	・耐用年数を経過し、老朽化が著しい住宅の建替整備を推進し、良質で安全・安心な居住環境の供給が図られる。	

## 3 事務事業の現状

活動指標名	計画値 (H27)	実績値					目標値 (H32)	目標値 (H37)
		H27	H28	H29	H30	H31		
1 ユニバーサルデザインの視点に立った市営住宅の整備割合	20.0%	20.0%	20.0%	20.5%	20.7%		22.0%	25.0%
2 ユニバーサルデザインの視点に立った市営住宅整備棟数・戸数	6棟・228戸	6棟・228戸	6棟・228戸	8棟・234戸	9棟・237戸		14棟・252戸	22棟・276戸
3								
4								
事業費(=下記内訳計)		H30予算			H30決算		H31予算	
		71,416			63,246		88,698	
内訳	国道支出金	30,255			30,229		33,199	
	地方債	30,100			30,100		49,200	
	その他							
	一般財源	11,061			2,917		6,299	
人員(人工)		2.00			2.00		2.00	
職員人件費(=人員(人工)×7,679千円)		15,358			15,358		15,358	
総事業費(=事業費+職員人件費)		86,774			78,604		104,056	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)		4,191			3,497			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)		366			331			

#### 4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	従前の既存住宅を解体し、建替える手法のみならず、良質なストック(既存住宅)を有効活用する手法を加え、建設コスト縮減を図りながら良質な住環境を提供する設計とした。
今後の動向・市民ニーズなど	建替事業の継続により、一定程度の入居待機者の解消が図られる。

#### 5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	計画的な建替整備により耐用年数を経過した住宅の割合は減少している。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 公営住宅法に基づいた事業であることから、基本的に市以外の取り組みは困難である。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 住宅困窮者に対する低廉家賃住宅は一定程度必要であることから、その中でも経年劣化が著しい住宅の計画的な建替整備を推進しなければならないと考える。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 公営住宅整備基準の遵守が求められていることから、コスト縮減には限界があるが、既に戸当たり単価は北海道内でも低いものとなっている。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある

#### 6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 ( <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (H 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	---

作成年月日

令和元年6月